

◆暮らしサポート サポート・ワン◆訪問介護
 ナイス・ケア◆通所介護ナイス・デイ◆小規模多機能型居宅介護ナイス・ホーム◆住宅型有料老人ホーム愛宕の家◆有料職業紹介
 つしま紹介所◆学童・託児ナイス・キッズ◆喫茶てのひら◆鍼灸てのひら治療院



vol. 247通信
 R3年3月7日発行

発行元：株式会社サポート・ワン・サービス
 愛知県津島市愛宕町四丁目113〒496-0036
 代表TEL：(0567) 26-3921
 FAX：(0567) 26-3922
 ホームページ <http://www.s-o-s.co.jp>

問合わせ・見学 大歓迎！！

《利用状況案内板 (☆募集中★満員)》

☆ナイス・ケア
 ☆ナイス・デイ (定員 10名)

月	火	水	木	金	土
9	9	6	7	8	7

☆ナイス・ホーム (定員 17名、現在登録者 12名)

☆愛宕の家 (定員 17名中入居者 12名)

☆つしま紹介所 (有料職業紹介)

家政婦(夫)さん募集中！！

《3月行事予定》

16日 運営推進会議
 (ナイス・デイ・ナイス・ホーム)

※新型コロナウイルスの感染拡大予防のため、行事は自粛しています。今後の行事予定も状況に合わせて変更する可能性があります。ご了承下さい。

《営業に関するお知らせ》

- ・打太鼓 → 休止中
 - ・コーラス → 休止中
 - ・ナイス・キッズ (学童保育・託児)
→今年度は休止
 - ・鍼灸てのひら
→対象者を利用者さん・職員に限定し営業中
 - ・喫茶てのひら
→時短営業 (9:00-12:30)
- 詳細はお問い合わせ下さい。

最期の2か月／愛宕の家

年が明けて、ナイス・ホームから愛宕の家へ入居してこられたBさん。病状の悪化に伴い、自宅で一人暮らすのは困難との事。入居当初はご自分で動かれ、食事少量ながら食べられました。「ちょっとでも食べると良くならな。」と言いつつ、一生懸命食べてみえましたが、喉が通らなくなり、アイスクリーム等食べられるものが限られてきました。日に日に痩せていく様子が目に見えて分かりました。それでもBさんは体力が許す限りご自分で何でもこなされようとしてみえた中でも、「死ぬのは怖い」と涙される事もありました。

私はそんなBさんの様子に、「自分だったらあんなに気丈に頑張れるだろうか?」、自分の命の終わりに向き合った時、「どんな風に向き合う事ができるだろうか?」「どんな風に周りの人に関わってもらえると穏やかな気持ちになれるだろうか?」、考える機会を与えてもらったと感じました。

Bさんは、最後まで人を気遣いながら入居から2か月足らずで旅立たれました。その間、自分の命に対して、抗いそして受け入れる覚悟を見せていただきました。

ご冥福をお祈りいたします。(K・T)



トイレットペーパーの芯を利用し、ひな人形づくりに挑戦。いろんな顔のひな人形が出来上がりました♪

壁飾り／ナイス・デイ

室内の壁飾りを利用者さんの手作りです。1年前からは習字も盛り込みかいてもらうようにしています。最近では月が替わる度に『今度は何にかしら?』『私書いてない!』等と利用者さんからの声を聞くと、楽しみにしてくださっているんだなあと感じます。しかし、中には、「私、字下手だから・・・」と言われる方もみえますが、上手でなくていいんです。ちょっと曲がっていても、何だろうが利用者さんの書いてくださった字にはとても味があり、壁飾りの良いアクセントになっています。壁飾りを制作し、一か月、皆と過ごすフロアに飾る事で、何事も自信をもってやって、達成感を味わっていただくのも目的の一つです。今はマーガレットのお花と春がテーマです。さて...来月は??皆さんと一緒に作り上げていく作品に私もワクワクしてきます。(M・O)



自費のサービスと介護保険制度／ナイス・ケア

腰を痛め、日常生活が思うように出来なくなられた事をきっかけに、介護保険の申請をされたAさん。もちろん“介護保険制度”を利用されるのは初めて。それまでのナイス・ケアとの関わりは、“自費のサービス”で、室内の掃除や草取り等をお手伝いさせて頂いていました。今回、援助が必要な状態となられたため、“介護保険制度”を利用される事になったのですが、“自費のサービス”と“介護保険制度”では提供できるサービス内容に違いがあります。例えば、動けない自分の代わりに買い物に行っても、認定された区分が要支援の場合は、市町村によって、ヘルパーのみでの買い物は出来ない事や、ご本人の生活範囲内の掃除しかできない事などがあります。“介護保険制度”を利用したサービスの利用料は、1割もしくは、2割、3割が自己負担で、それ以外は保険料から支払われます。そして、介護保険法に基づき、様々な制約や書類などが発生します。“自費のサービス”は、保険を利用しないため、費用は全額自己負担です。サービス内容はご本人と事業所で相談して決まります。

Aさんも、実際に“介護保険制度”を利用開始時は、「やってほしい事がやってもらえない!」と訴えられる事がありました。Aさんにとっては、今までと同じ事業所なのに何が出来る、何が出来ないのか、“自費のサービス”と“介護保険制度”を利用する事の違いに『どうして?』と戸惑われていたのだと思います。

“介護保険制度”の利用を始めて約1か月。公の保険制度を利用する事と利用しない自費のサービスを利用する事のそれぞれのメリット、デメリットをその都度、説明させて頂きながら介護保険のサービスを少しずつ理解してくださっているAさん。腰の痛みも少しずつ和らいでみえる様子です。一人暮らしのため、「自分がやらなければ!」と、無理をされがちなAさんです。“自費のサービス”と“介護保険制度”を上手に利用して頂いて、Aさんが思い描く生活が維持できるよう援助させて頂きたいと思います。(H・A)

分かりづらいかもしれませんが、リモートで自宅からカンファレンスに参加している様子です。お休みの日でも参加できるようになるといいですね



毎月1回定期的に実施している避難訓練。この日は、テラスに避難ついでに、しばらく日向ぼっこ

《編集後記》

東日本大震災から今年で10年目を迎えています。最近、地震がちょこちょこあり、この地方にもいつか来るのではないかと心配です。今一度、地域の避難場所、非常時の準備を確認して頂けると安心です。(Y・O)



SOS通信はホームページへの掲載と合わせ、地域の関係者や事業所、ご家族様へも発送しています。

3月の発送部数 96部